

「学校評価」集計結果の報告

H31 学校評価委員会

10月に実施した「学校評価」の集計結果をまとめると以下のようになりました。詳細は集計結果をご覧ください。

職員用

- ① 総合評価の低い項目 (★★) なし
(★★★) 3項目 (No16, 20, 23) ※昨年度4項目
No.16 「伊高では、授業確保のための行事精選や時間割編成がなされている。」
No.20 「伊高では、Go For It! を活用し、それに基づく指導・助言が的確になされている」
No.23 「伊高の職員は、生徒の安全に関わる知識及び校内安全対策マニュアルを熟知している。」
- ② 前年度と比較し、評価が下がった項目 (↓) なし

保護者用

- ① 総合評価の低い項目 (★★) なし
(★★★) 1項目 全体 No.4 ※昨年度1項目
《1年 No.4, 2年 No.4, 12, 3年なし》
- ② 前年度と比較し、評価が下がった項目 (↓)
全体 なし 1年 なし 2年 No.6, 7, 12 3年 No.15
- ③ 前年次と比較し、評価が下がった項目 (↓)
2年 No.6, 12 3年 No.7
- ④ 前年度と比較し、評価が上がった項目 (↑)
全体 なし 1年 なし 2年 なし 3年 No.3, 4, 14
- ⑤ 前年次と比較し、評価が上がった項目 (↑)
2年 なし 3年 No.3, 4, 14

生徒用

① 総合評価の低い項目 (★★) なし

(★★★) 7項目 全体 No.1, 5, 6, 7, 8, 19, 24

※昨年度2項目

1年 8項目 No.6, 7, 8, 19, 20, 22, 24 ※昨年度3項目

2年 11項目 No.1, 2, 3, 5, 6, 8, 10, 11, 16, 19, 24 ※昨年度4項目

3年 3項目 No.8, 19, 24 ※昨年度4項目

② 前年度と比較し、評価が下がった項目 (↓)

全体 4項目 ※昨年度は3項目

No.5「伊高生は、マナーを大切にする気持ちが強い。「公德」」

No.6「伊高生は、学習時間の確保に努め、また進路目標の実現にも努めている」

No.7「伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている」

No.24「伊高は、安全な学校実現のために危険箇所等の補修に迅速に対応している」

1年 6項目 No.6, 7, 19, 20, 22, 24

2年 8項目 No.2, 3, 5, 10, 13, 16, 19, 24

3年 3項目 No.13, 19, 24

③ 前年次と比較し、評価が下がった項目 (↓)

2年 8項目 No.2, 3, 6, 10, 11, 13, 16, 24

3年 3項目 No.13, 19, 24

④ 前年度と比較し、評価が上がった項目 (↑)

全体 なし

1年 2項目 No.5, 11

2年 2項目 No.7, 23

3年 4項目 No.3, 5, 11, 23

⑤ 前年次と比較し、評価が上がった項目 (↑)

2年 1項目 No.23

3年 5項目 No.4, 6, 7, 11, 23

学校評価アンケートの所見及び改善策

(1) 【教務部】

- 1 評価が低かった項目（★3以下）及び前年度から評価が下がった項目について
（職員）

No16 伊高では、授業確保のための行事精選や時間割編成がなされている。（★3）

→ 行事の精選が進まない現状が影響していると考え。行事の精選に関しては、教務部で行事を削るということは難しく、各係等で検討をしていただきたい。その上で行事の精選を図らなければならないため、各係等での隔年実施等も含めた検討をお願いしたい。

また、来年度は国体等の影響で行事を例年通りの実施という流れで組めない部分も出てくるので、教務部としては行事の実施時期の確認を行うことに注意していきたい。

2 その他

・非常時の対応で、混乱を生じさせる部分があったため、今年度「非常時の対応について」の見直しを行った。

(2) 【生徒指導部】

- 1 評価が低かった項目（★3以下）及び前年度から評価が下がった項目について
（生徒）

No7 伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている。（★3）

→ 特定の生徒が頻繁に指導される姿を見る、他生徒の回答も影響していると考え。今後も今まで同様、全職員で生徒へ粘り強く、教え・伝え・指導していくしかない。

2 その他

・多くの項目において高い評価をいただいているのは、担任を中心に全職員が協力し合い、生徒へ対する日常の声掛けを大切にしているからだと考え。今後も継続していきたい。

(3) 【進路指導部】

1 評価が低かった項目（★3以下）及び前年度から評価が下がった項目について （職員）

No16 授業確保のための行事精選や時間割編成がなされている。（★3）

→ 第3回実力考査の実施について学年、教科で検討した。中間、期末考査との間隔が短いこと、学力検討会の資料として活用されているのか疑問との意見が出された一方、生徒の記述の学力の把握、新入試を控えて教師の作問力の向上のために、特に3年生は必要との意見もあった。今後の進路指導委員会、職員会議で最終的な結論を出す予定である。

No20 Go For It! を活用し、それに基づいた指導・助言が的確になされている。（★3）

→ 担任の負担軽減のため週2～3回提出させたり、テスト前など時宜を捉えて活用したりなどの工夫をする。また、業者が提供する電子媒体での宅習記録を活用している県内の学校もあるので今後の検討が必要である。

（生徒）

No6 学習時間(補習を含む)の確保に努め、進路目標の実現に努めている。（★3）

→ 4分の3の生徒が肯定的に捉えているので一概に低いとはいえないが、第2回宅習時間調査の結果を見ると、第1回に比べ減少が明らかなので、授業の理解度、課題の難易度、分量等について検証が必要である。学力の低い生徒が増え、予習・復習がなかなかできない状況がある。

→ 部活動の終了時間、下校時間をしっかりと守らせる必要がある。

（保護者）

No4 それぞれの能力に応じて成績を伸ばす適切な学習指導がなされている。（★3）

→ 生徒用 No16「わかりやすい授業」とも関連しており、生徒の能力、進路目標に応じた授業の改善が必要である。まずは授業を大事にさせる。授業中の居眠りが目につくが、規則正しい生活が出来ているのか面談や Go For It!などで確認する。

→ 質問に来る生徒が以前に比べ少なくなったので、自分から質問に来るよう指導する。また、中学校からの流れで、塾を頼りにしている生徒が相当数いる。そう思われたいためにも、我々が生徒の実態に合わせ、授業を改善、指導法を工夫する必要がある。

2 その他

・鹿児島大学をはじめとした国公立大に合格させるための進路学習と、年々増える専門学校希望者に対する進路学習を使い分ける必要を感じる。大学希望者には学問への関心・意欲を高めるための卒業生との懇談やオープンキャンパス、模擬試験への挑戦をさせる。学力的に専門学校を検討すべき生徒には適切な時期に、生徒の適性に応じた将来性のある学校を紹介すべきである。そのためにクラスの枠を取り払った（就職も含めて）校種別の進路学習を検討したい。

(4) 【保健部】

- 1 評価が低かった項目（★3以下）及び前年度から評価が下がった項目について
（職員）

No23 伊高の職員は、生徒の安全に関わる知識及び校内安全対策マニュアルを熟知している。（★3）

→ 生徒の安全という観点から、職員に周知徹底しなければならない。可能な限り、職員研修の時間をしっかりと確保して、さらに充実した研修となるように努力していく。

（生徒）

No24 伊高は、安全な学校実現のために危険箇所等の補修に迅速に対応している。（★3）

→ 現状はできる限り早急に補修等を行っている。生徒への周知をしていないため、生徒が補修完了を知らなかったり、予算を伴うものであるため、迅速にできないものがあったりすることが、評価を低くしている原因でもありと考える。予算の関係で早急にできない場合もあるので、優先順位を決めて対応していく。

- 2 その他

・保健部関連の項目は、全般的に概ね高評価である。今後もさらに高評価となるように継続していく。

(5) 【事務部】

- 1 評価が低かった項目（★3以下）及び前年度から評価が下がった項目について
（生徒）

No24 伊高は、安全な学校実現のために危険箇所等の補修に迅速に対応している。（★3）

→ 危険箇所の補修等については、可能な限り早急に対応するとともに、高額な費用がかかるような補修については、本庁への予算要求を確実にし、更なる施設設備の充実に努めたい。また、古い施設設備が多いので、今後とも経年劣化等に十分気をつけたい。

- 2 その他

・電話や窓口での対応については、保護者、生徒ともに、一定の評価がなされている。今後とも、適切な対応に心がけていきたい。

・光熱水費削減について、職員は意識をもっているという結果であるが、生徒も含め光熱水費の削減に向けて、呼びかけなど啓発の工夫が必要であると考えます。

(6) 【1 学年】

1 評価が低かった項目（★3以下）及び前年度から評価が下がった項目について

(生徒)

No6 伊高生は、学習時間（補習等を含む）の確保に努め、また進路目標の実現に努めている。(★3)

→ 単に時間稼ぎになるのではなく、中身のある学習になるように各教科が工夫をした指導を行っている。不振者に対する指導も継続して行っている。進路については、担任が面談等とおしてじっくり考えるように指導している。

No7 伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている。(★3)

→ 各家庭と連絡を密に取りながら個々の実態に合わせて指導している。

No8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、計画的に予習・復習をし、授業に臨んでいる。(★3)

→ 各教科が意識的に指導をしているが、なかなか定着しない様子である。中学校時代から学習習慣のない生徒にどう習慣づけさせるかが大きな課題である。

No19 伊高での生活は、充実しており、後輩の中学生にも勧められる学校である。(★3)

→ 自己分析を行わせ、自身の成長の度合いを知ることができれば高校に対する意識も変わるかもしれない。客観的に自分を見つめる機会を与える。

No20 伊高は、講演会や芸術鑑賞会等を実施し、自分の生き方やあり方を考える機会にしている。(★3)

→ アンケート実施時までは、講演会や芸術鑑賞会は実施されていなかったもので、現段階で評価をすれば結果は変わるのではないか。

No22 伊高は、ボランティア精神を育てている。(★3)

→ 基本的にボランティア等には参加をする生徒が多いと思う。今後、呼びかけがあれば、参加する生徒が増えると予想される。

No24 伊高は、安全な学校実現のために危険箇所等の補修に迅速に対応している。(★3)

→ 施設等が古いのでこのような結果になったのかもしれない。目に見える形で補修を行うと共に、大事に使用することも意識づけたい。

(職員・保護者)

すべての項目で高評価であった。

2 その他

・アンケート結果より生徒自身が中学校と比較して伊高生は基本的にマナーを守れる生徒が多いと感じていることが読み取れる。また、清掃や週番活動などにきちんと取り組む生徒が多いとも感じているようだ。

(7) 【2 学年】

1 評価が低かった項目 (★3以下) 及び前年度から評価が下がった項目について
(生徒)

No2 伊高生は、良識を持ち、自主的に行動できる生徒が多い。「自律」(★3)

No3 伊高生は、我慢強く、困難に耐えられる強さを持っている。「忍耐」(★3)

No5 伊高生は、マナーを大切にすることが強い。「公德」(★3)

→ 公共の場におけるマナー違反は、迷惑をかけたたり、周囲に不快な思いをさせたりするということを細かく教えていかなければいけない。外部からの情報提供があったときなどに、SHR 等で時間をかけて指導していくしかない。

No6 伊高生は、学習時間(補習等を含む)の確保に努め、また進路目標の実現にも努めている。(★3)

No10 伊高生は、進路学習に積極的に取り組み、上級学校や職業について理解を深めている。(★3)

→ 漠然とした目標しかもっていない生徒が多い。また、自己理解ができておらず、適性がどうかと思う分野にこだわる生徒もいる。LHR 等を通じて、もっと情報を与えたり、自己理解を深めさせるような仕掛けが必要である。

No11 伊高生は、各部屋の消灯・節水等を実施し、光熱水費の削減に努めている。(★3)

→ 移動教室等の際は、最後に退室する人が必ず消灯することを徹底させる。

No13 伊高生は、交通ルールを守り、交通安全には十分注意して登下校をしている。(★4)

→ 駅から学校までの間で小中学生に道を譲る意識が不十分である。繰り返し指導するしかない。

No16 伊高の先生は、生徒の実態を踏まえ、わかりやすい授業の実践に努めている。(★3)

→ 授業中に寝ている生徒に限って分からないと言っている様子があるので、まずは授業を大事にさせる。また、放課後に質問に来る生徒が全くいなくなった。分からなかったところは、自分から質問に来るよう指導する。

中学校からの流れで、塾を頼りにしている生徒が相当数いる。あくまでも学校の授業があつての塾なのではなかろうか。そう思われたいためにも、我々が生徒の実態に合わせ、授業を改善する必要がある。

No19 伊高での生活は、充実しており、後輩の中学生にも勧められる学校である。(★3)

→ 手のかかる生徒からすると、うるさい、面倒くさい、と思われて評価が下がっているのではないか。また、そのような生徒が増えているのを見て、真面目な生徒たちも勧めたくないと感じているのではないか。他校に行けば、そこでもいろいろあるはず。充実した伊高での生活になるよう、生徒一人一人を指導していかなければならない。

2 その他

・生徒の学力差と進路希望の多様化により、生徒への向き合い方が難しくなっている。学力の低い生徒が増え、予習・復習がなかなかできない状況である。各教科で課題の内容等を検討し、バランスよく学習させる必要がある。

・部活動の終了時間、下校時間をしっかりと守らせる必要がある。冬期は19時完全下校だが、19時を過ぎてもうろうろしている部活動がある。その結果、帰る時間が遅くなり、学習時間が減っている生徒もいるのではないか。

(8) 【3 学年】

1 評価が低かった項目 (★3以下) 及び前年度から評価が下がった項目について
(職員)

No16 伊高では、授業確保のための行事精選や時間割編成がなされている。(★3)

→ どの行事も意義はあるので減らすのは難しいが、授業確保や学習環境の整備などの視点、また学校全体の視点から、各係で検討していく。

No20 伊高では、Go For It!を活用し、それに基づく指導・助言が的確になされている。(★3)

→ より活用できるように、活用の仕方や方法などを検討していく。また、生徒にも「Go For It」の意義を考えさせる指導をする。

No23 伊高の職員は、生徒の安全に関わる知識及び校内安全対策マニュアルを熟知している。(★3)

→ 現状で様々な校内研修が設定されているが、各係会や各教科会でも定期的に触れるようにする。

(生徒)

No8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、計画的に予習・復習をし、授業に臨んでいる。(★3)

→ 予習・復習の習慣化を促す指導や個に応じた教材、学習方法の提示を行う。また、生徒自身に進路実現のための学習の必要性を理解させる指導を推進すべき。

No13 伊高生は、交通ルールを守り、交通安全には十分注意して登下校をしている。(★4)

→ 交通安全教室や実技指導の充実を図る。

No19 伊高での学校生活は充実しており、後輩の中学生にも勧められる学校である。(★3)

→ 在校生が発信する伊高のよさを、地元の中学生に伝える工夫が求められる。また、多岐に渡る進路志望の中、画一的な指導がなされる現状を少しでも改善すべき。

No24 伊高は、安全な学校実現のために危険箇所等の補修に迅速に対応している。(★3)

→ 現状迅速な対応をしてくださっていると思う。生徒の実感がそうであるなら、まずは生徒から危険箇所に関する情報を迅速に収集する方法を確立すべき。

(保護者)

すべての項目で高評価であり2年次や昨年度3年生と比べても評価が高かった。

2 その他

- ・楽しそうに見えて張りのない生活になっていると感じている者が多いのではないかと思う。進路志望も安易に考えている者が多くなっているように感じる。3年の秋になっても雰囲気変わらない者もいた。基礎力のなさを生徒たちも感じていると思う。
- ・夏季休業中の放課後課外や放課後自習、模試受験について見直し、検討が必要ではないか。
- ・学力向上・進路達成を目指しながら、純朴で勤勉な伊集院高校生になるように、地道に取り組んでいくしかない。